

# 幼児の體育

——本會主催夏期講習會講演筆記——

東京女子高等師範學校教授

佐々木 等

私は幼児の體育に就て話せしむ倉橋先生の御命令でこゝにまゐりまして、皆さんの講習を受けられる態度の嚴肅なのにまづ感心したのであります。幼児の生活に就ては多少觀察してゐますが恐らく常識的なこゝを言ふに止まるだらうと思ひます。

先づ、自分のこゝを少し申し上げ様と思ひます。私は小さい時から非常に苦勞をして來てゐます。前半生を申し上げたら本當かと思はれる程であります。小さい時は體が弱く、かんが昂く、意志も弱かつた。人が卒業する頃師範學校へ入り、卒業してから七十六人の生徒を受持つた時非常に責任を感じました。初めの一二時間はおこなしかつたが段々野性を出して來て、二三日するに神經衰弱になつてしまひました。それで學校から抜け出す事にしました、その時日本で初めての體育科に入るように先輩から言はれて補缺に入り三年半で卒業しましたのが大正八年。東京を志望して府立五中に赴任して、一年經つた時高等師範の小學校に來てくれと言はれ、五ヶ年間子供達と一緒に暮しました。その間子供の體育に興味を得、一生懸命しなければならぬと思ふ様になりました。その中體育研究所が出來ましたので大正十三年からそこに關係し、昭和八年の四月まで高等師範で體育研究所にゐました。昭和八年の四月から女高師の方に來たのであります、それで女子の體育をも種々考へる様になりました。

女子の使命を考へて見ます。三釋迦の説法にもある通り女子は母なること、母となつて子供を養育すること、の二つあるを思ひます。幼稚園の規則を調べて見ましたところ保姆は女子が之に當ることあります。保姆は女子に限るのであります。

これは頗るよく出来てゐると思ふ、男子は抜けてゐる感があるが女子は精密であります。この點非常によいと思ひます。

そこで女子の體育と子供の體育とは密接な關係があるのであります。日本の國家を強くする爲には母體の健康を増進しなければなりません。女子體育は男子のそれより重大であります。幼児保育の立場から、幼児の體育は日本の繁榮の爲に大切でありますから皆で氣を揃へてやり度いものであります。八月一日からベルリンでオリンピックゲームが開催せられますが、あの選手が全力を盡します。がスポーツがそんなに盛になつても駄目で、皆が揃つてするのでなくては駄目であります。ピラミッドの様に底が廣くて選手がその上に出たものでなければならぬを考へます。國防費がかさんでゐますが國民の生活の安定を無視してはいけない、そして壯丁の體格を増進しなければいけない。陸軍大臣が言はれてゐます。衛生省、保健省も次第に必要なつて來るのだと思ひます。女子の身長が伸びたと言はれてゐます。實際銀座を歩いてゐます。と大てい母親より娘の方が背が高い、しかし力がありません。と迄も力の強い者になることが大切であります。子供の體育を考へると同時に母親の體育が考へられねばなりません。日本國家の充實には女子の體育の實を擧げねばならないと同時に幼児の體育を奨励させねばなりません。現今幼児の體育は左程考へ及んでゐない様であります。

幼児期といふものはさう言ふ時代であるかそんな特徴を持つてゐるかは教育學で聞いてゐられる事であるからこゝに改めて言ふ迄もない、陶冶性はお互に持つてゐる、が幼児は自分からやつて行かうとする力はなく、被陶冶性は非常に強く學習するには最も充實した時代であります。従つてこの時代の教育は非常に大切であり、將來の職業決定はこの時期に判ること言はれます。又遊戯に依つても將來何になるかに判るものであります。兎に角自分に對する主張が強く我儘な行動が

多から取扱ひに骨が折れ苦心を必要とします。その上に尙我々からお願ひするのは迷惑でありませうが子供時代に與へられたヒントといふものは後々までも影響を與へられるものであります。私は幼児期に不良だつたと言ひませうか煙草が好きでありました。これも體が弱かつた故でありませう。それが尋常一年の時ニコチンの害の話をきいた、それから煙管を見るのもいやになりました。今日では酒も煙草も飲みません。幼少の時代の一寸したこゝが非常に大きな影響を與へるこゝが判ります。又幼児期の特徴と言ひませうか子供の生活をみてみますとよく喧嘩をします。これは危くさへなかつたらやらせた方がいゝかと思ひますがその原因は自分の欲求からするので意が通らない場合であります。食物の事では特に欲求が盛であります。ですから子供は食べ過ぎる事が多いので、又食物に敏感であります。子供は水を飲み度があります。水を絶対に飲ませない人もありますが發育盛りにには要求するのであります。稻も花が開く時は水を盛に取り取ります。發育には水は必要なので、その時與へないのはむしろ罪惡であります。但し多く與へすぎていけないこゝは勿論であります。

又子供は残忍性を露骨に表すものです。トンボの眼を抜いたり、蛙の皮をむいたりします。この残忍性は文明人より野人よりは非常に開きがあります。野蕃人は露骨に表します。その點子供は野蕃人に似てゐると言へませうか。文明人より野蕃人、男より女でこの表し方がちがひます。イギリスのダーウィンの南米に研究に行つた時の見聞談であります。海岸で貝を取つてゐる夫婦と子供の三人の様子をみてゐた處、男が海にもぐつて貝を三つて來ては子供に渡し、子供が籠に入れてゐるが風がひびくつて子供が籠をおこしてしまつた。男は怒つて子供を岩にぶつけて殺してしまつたといふのが書いてあります。いかにも野蕃性を表してゐますが子供が感情を直接表す處似た點がある様であります。次に榮養の問題であるが、前にも述べた様に子供は飲食物に敏感であります。榮養のこゝに就いては中々一口に言へません。植物でもあんまり肥料を與へすぎではいけない様なものであります。榮養を吸收する根は決つてゐるので多過ぎては反つて枯してしまひま

す。しかし、栄養の問題は幼児教育に深い関係のある事は言を俟ちません。社會問題として幼稚園で給食することも考へられるべきと思ひます。兎に角子供は子供として發育させると同時に國家に有爲な人間をつくらねばならないのですから子供の時から目標を立て、育てなければならぬと思ひます。幼児教育もこの點に着眼せねばならぬと思ひます。

そこで、幼兒體育の中心となるものは何であるか、これは皆さんがよく考へて居られることではありますが遊戯プレイであります。これを指導することは容易の様で大變難しいことでもあります。同じ材料でも指導如何によりよくもなり悪くもなります。先程言ひました様に遊戯は職業迄決定する程のものであります故、専門家に就いて充分研究しなければなりません。これと同時に考慮しなければならない事は衛生の問題であります。傳染病の豫防、水の制限、虚弱者に對する扱ひ方等について充分なる注意を要する事は勿論であります。太陽燈等について近年種々研究されてゐる様でありますが比較的光線に恵まれないヨーロッパでは必要でありませうが實際光線の當る日本ではあまり必要ではない様であります。この遊戯によつて子供は自己發展の力を養ふのであります。

さてその設備であります。砂場は勿論必要であります。外國でも砂場が大分發達してゐる様で、かつて、旅行した際、アムステルダムAmsterdamの町の廣場に澤山砂場があり子供が非常に澤山遊んでゐる事を記憶してゐます。ベルリンには道端に砂場がありました。それから滑り臺、小さな山、ジャングルジム、これが日本で最初に出來たのはこの附屬小學校であります。アメリカの創案であります。子供が大變喜ぶことは御承知の通りであります。その他、小さな流れ、又池が欲しい、子供は水遊びを好みます。ベルリンの郊外でも子供が二人雨上りの水溜りでもバケツをもつて面白さうに遊んでゐるのを見た事がありました。この他運動場は勿論必要で規則でも一人當りきの位の廣さ以上は決つてゐます。

次に遊戯の實際に就いて申述べ様と思ひます。遊戯を次の様に分けることが出來ます。

即ち Play } 遊 技  
 Competition } 團體競技

この中で幼児にはプレーミ團體競技が最も適するものであります。そこでその目的は言ひます。極意は人間陶冶であります。がこれを身體的方面ミ精神的方面ミに分けて考へて見ます。まづ身體的方面では運動を正確機敏自由ならしめること。力の養成、身體ミ精神を完全にコンビネートせしむること、生活の安全性を強化すること等があります。精神的方面を申します。本能の純化、意志の鞏固、判断の正確、觀念聯合の速かさ、觀察の精密性及速かさ、等を養ひ、想像を盛にし創造的活動を促進し自信力の養成をなす等があります。これを要するに人間的陶冶であります。

そこで如何な遊戯があるか申します。分類は人に依つて異ひますがまづ①身體活動を主とする遊戯ミしましては走ること、跳ぶこと、投げること、相撲、ブランコ、輪廻し、繩遊び、よち上ること等、②模倣想像活動を主とする遊戯ミして、動物のまね、大人の仕事のまね、汽車電車ごっこ、兵隊ごっこ、マ、ゴト遊び、郵便屋ごっこ等、③自然物を友とする遊戯ミして蟲取り、魚すくひ等、④童話劇ミして桃太郎ごっこ、浦島太郎遊び等、⑤唱歌遊戯、これは言ふ迄もありませんが歌詞、歌曲に伴つたりリズムミカルな運動であります。⑥競争、幼稚園時代はあまり競争はよくないと思ひます。幼児は頭が大きくて倒れ易いものであります。が骨がやはらかく曲るこことが多いので危険はわり合少いものであります。競技ミしては旗取り、子供は何か取り度い氣持が旺盛であります。鬼遊び、陣取り鬼、跳躍的運動をさせるには觸球がよいのであります。ハンカチ取源平球投競争、受渡し競争、紅白球並べ、日月遊び、運搬遊び(二キロ乃至三キロのボールを下げて十米、二十米を行く)たまごころがし、等があります。この他體操がありますがこれも遊戯的に行ふ事が必要です。

次に遊戯を行はせるに就いての諸注意を申し上げます。

1、子供に運動を好まぬ者があつた場合の處置、その理由を究めて段々やらせる様にします。指導に依つてはある程度迄好く様になります。

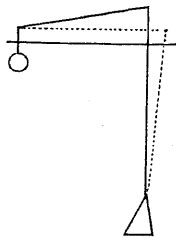
2、子供は運動の速度が早いこゝ。軍隊では一分間凡そ一四歩。尋常六年生では一三〇歩、幼児はもつと早く早いものです。3、子供は移り氣で、何度も反復練習することを嫌ひますが、それをさせて運動を自分のものにする様指導しなければなりません。

4、運動用具に就て。危険の伴はないものを用ふるこゝ。有毒でない塗料を用ふるこゝ、感じの良いものを用ふるこゝ等の注意を要します。

5、競争遊戲で、疾走する場合の長さの長さがよいか。

子供は體力は弱いが比較的心臟が強く、血管も太いから少量を數多くさせるがよいのであります。距離は十米から十五米の程度で旗取りならば、十米から十五米の往復、鬼ゴッコなり半徑二米か三米の圓で十五人から二十人位一團なる程度、陣鬼なら陣ミ陣ミの距離六七米位で十二三人が組になる程度、川踏び、廣い時には間で休んで又踏ぶ様にします。次に幼児に適當な競技の例をあげます。

### 1、觸球



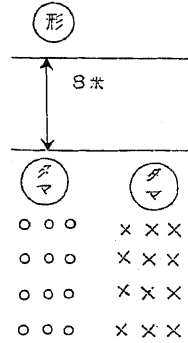
球が上げ下げ出来る様になつてゐる機械を用ふ。

### 2、源平球投げ

バスケットの周りに紅白のボールを散布して置き、源平同時に喜んで行つて紅白のバスケットに球を入れ、或時間で止

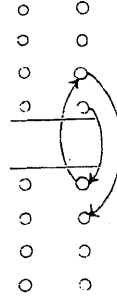
めて入った球の数を比べる。一人當り六個位の球數。それはバスケットが紅白二つあつてもよい。

3、受け渡し競争



一、二米の距離に子供を並べ物を受渡す。

4、球並べ競争



三人乃至五人が一緒に、出来るだけ球を澤山もつて行つて向ふに豫め線で三角形さか、三角の中に四角さか、ダルマ、象、兎等の繪を置いて置き、球を並べて繪をうめる。出来るだけ早く出来て歸つた方が勝

つゝなる。これは面白くて價値も多いものであります。

5、紅白圓盤遊び

先生が一方が紅、一方が白の圓盤をなげ上げて出た色が優勢になつて相手をつかまへる。

6、運搬遊び

二キロ乃至三キロのボールを十米乃至八米さげて前方の旗をいまはりして歸り次に渡す。これは少しむづかしいかも知れなせん。

7、球ころがし

大きな球(紅白)を八米乃至十米ころがして前方の旗を廻つて歸り次のグループに渡す。

(文責在編輯部)